

令和7年4月11日

第2期 プロジェクト型研究（ヘルスプロモーション戦略研究・開発プログラム）の
中間発表会におけるプログラムオフィサー（PO）の評価の概要

ヘルスプロモーション戦略研究センター長

【研究課題名】

青森県における効果的なヘルスコミュニケーション手法の開発に関する研究

【研究代表者】

特任教授 大西基喜

【プログラムオフィサー】

吉池信男（本学学長）、澁谷泰秀（青森大学学長）、諸橋勇（キャリア開発センター長）、神成一哉（特任教授）、佐藤伸（ヘルスプロモーション戦略研究センター長）

○評価の概要

本プロジェクトは、保健部門、医療部門及び介護部門の3分野からなり、それぞれの分野から計8つの研究課題が進められている。その構成員は、本学教員17名、大学院生7名、客員研究員3名並びに外部研究者4名の総勢31名からなる。

学外からの委員を含むプログラムオフィサー（PO）ならびに多くの参加者が出席し、上記の研究課題の中間発表会（2年目）が開催された。まず、各課題の研究成果が発表され、その後、短い時間ではあったが、多くの建設的な質問と回答があった。

POのコメントとしては、「2年目においても、事業を順調に進めている」あるいは、「多様な連携や若手研究者の育成という本プログラムの目的に合致した構成や役割分担となって進められている」とのことであった。今後、社会に実際に役立つ成果として期待できるという評価であった。

以上のことから、POは2年目も順調に進んでおり、本研究を継続することが望ましいと判断した。